

議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」に係る打ち合わせ(第 2 回)

2. 日時： 令和 5 年 6 月 30 日(金) 15:00~16:30

3. 場所： 原子力規制庁 会議室(対面及び web 会議)

4. 出席者： 原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門

日比野総括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、川内技術計画専門職、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社

磯子エンジニアリングセンター 原子力システム設計部 エキスパート ほか 2 名

パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

国内営業統括部 新技術営業部 スペシャリスト

鹿島建設株式会社

原子力部 原子力設計室長 ほか 1 名

5. 要旨：

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。

今回は、当事業に係る第 2 回打ち合わせを実施した。内容は下記のとおり。

- ① 試験体製作の進捗及び今後の載荷試験までの作業工程について、東芝エネルギーシステムズ株式会社から説明があった。
- ② 計測データの整理方法について、原子力規制庁から説明した。また、その詳細について、東芝エネルギーシステムズ株式会社及び鹿島建設株式会社と議論した。

③ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他

特になし